読書が育てるまちの未来

読書のすすめ

テーマ

「図書館のお仕事」

９月24日から27日まで土岐市図書館は休館します。この４日間は「蔵書点検」という、すべての蔵書を点検して所在不明の本の捜索をするなど、図書館の資料を確実に提供できる状態にするための保守点検をします。今回は、意外に知らない図書館のお仕事が書かれた本を紹介します。

『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』福井県立図書館（講談社）

利用者さんと一緒に目的の本を探すサービスを「レファレンス」と言います。“内容は少し思い出せるけどタイトルはうろ覚え”という場合でも、目的の本にたどり着けるよう図書館の職員がお手伝いします。



『眞野先生。本が傷んだら修理するだけじゃダメってホント？』眞野 節雄（DVジャパン）

水に濡れると何がマズいの？修理にセロハンテープは使っちゃダメ？お話を読み進めると、本の修理にかなり詳しくなります。もし図書館の本が濡れたり壊れたりしたら、できるだけ早く図書館までお持ちください。



『税金で買った本 7』ずいの、系山 冏（講談社）

ヤンキー石平くんが図書館でアルバイトをするお仕事マンガ。この巻では「蔵書点検」のお話が収録されています。図書館で働く人が共感でき過ぎてしまうくらい、リアルに図書館の仕事や困りごとが描かれています。



とっておきの一冊を紹介します



土岐商業高校３年
図書委員
市野　幸喜（こうき）さん

桜ノ雨
原作・原案：halyosy　著：藤田遼（ＰＨＰ研究所）

私がおすすめする本は「桜ノ雨」です。原作・原案は、クリエーターのhalyosyさん、著者は「名探偵グルメ！」などを手がけた藤田遼さんです。

みなさんは「桜ノ雨」という楽曲を知っていますか。この曲は、二〇〇八年にhalyosyさんが、ボーカロイド「初音ミク」を用いて作曲されたものです。卒業をテーマに作曲されたこの曲は、ニコニコ動画に投稿されて以来、大きな反響を呼び、今では卒業式や合唱などで歌われる曲の定番となっています。この本は、そんな「桜ノ雨」をノベル化したものです。

音浜高校と呼ばれる高校を舞台に、合唱部に所属する未来（ミク）をはじめとしたボカロキャラが、合唱を通して大切なことを学んで成長していく、青春を描いた物語です。

これから大人になっていく人、そしてもう大人になってしまった人が青春を思い描けるような作品です。ぜひ読んでみてください。



土岐市図書館　☎55-1253

10月の休館日

7日、21日、28日の月曜日、25日(金)
※変更があった場合は、図書館HPやX(旧Twitter)でお知らせします。

開館時間
▶火～金曜日
10:00～19:00
▶土・日曜日、祝日
10:00～17:00

図書館からのお知らせ

11月3日(日)に「(製本講座)ハードカバーの本をつくろう！」を開催します。毎年人気の講座です。お早めにご応募ください。

定　　員：一般10名、中高生10名（先着順）
持 ち 物：布など
申込開始：10月１日(火)　午前10時
※詳細は図書館にお問い合わせください。